

スタートアップ企業 ミニセミナー

in 海洋文化都市 **くれ海博** 2026

海洋・海事分野の新産業をご紹介します!

先端研究を基に革新的なサービスや製品を生み出すスタートアップ企業。リニューアルしたばかりの大和ミュージアムでその挑戦のリアルに触れてみませんか。

開催日時

5月30日(土) 13:00~14:00
5月31日(日) 11:00~11:45

開催会場

大和ミュージアム1階 大和ホール
※大和ミュージアムを観覧される場合は別途入場料が必要

■ 5月30日(土)

株式会社 ザブーン

海事産業を
より魅力的に

うみらぼ 株式会社

海洋・海事技術で
次の100年を創る。
マリンテックサミット2026を呉で開催。

FAN Energy

再エネ×地域経済
循環スキームが創
る持続可能な地域
社会

株式会社 SeaBreath

プランクトン観測
を進化させるイメ
ージング技術の
活用例と多様性

■ 5月31日(日)

トロイダル プロペラ

高効率を実現する
次世代プロペラの
開発と実験について

株式会社 シーテックヒロシマ

1,000億円の経済
損失を止める
～船舶の常識を覆す
二重表面処理技術～

株式会社 光電製作所

海洋・沿岸向け
分散型IoT観測シ
ステムのご紹介

事前申込
不要

くれ海博の詳細はこちら



参加費
無料

両日とも、ミニセミナー終了後に名刺交換会を開催(約1時間)

呉市・広島大学
Town & Gown Office

kure-tgo-admin@office.hiroshima-u.ac.jp

070-1477-8445



<p>5/30 (土) 13:00</p> <p>株式会社SeaBreath</p> <p>プランクトン観測を進化させるイメージング技術の活用例と多様性</p>	<p>近年は、深海生物などを鮮明に観察できる技術が広まり、動植物プランクトンも高い解像度で画像として記録できるようになってきています。こうした技術の進歩によって、海洋観測の精度がさらに高まることが期待されています。</p> <p>さらに、扱いやすいイメージング装置も増えてきており、専門家だけでなく一般の人たちもデータの収集や解析に参加できるようになってきました。こうした広がりには、より多様な視点から海の情報を集めるうえで大きな力になると考えられます。</p>
<p>5/30 (土) 13:15</p> <p>株式会社ザブーン</p> <p>海事産業をより魅力的に</p>	<p>島国日本の物流を支える海運業において、現場に即したデジタル化は急務です。株式会社ザブーンは、業界独自の古き良き文化を尊重しながら、船内の煩雑な書類管理や船員の労務管理をスマートにするプラットフォーム「MARITIME 7」を展開しており、既に全国790隻以上で導入が進んでいます。</p> <p>地方から海事産業をアップデートし、若い世代が魅力を感じる環境を創るための「最初の一步」を提案します。</p>
<p>5/30 (土) 13:30</p> <p>うみらぼ株式会社</p> <p>海洋・海事技術で次の100年を創る。マリンテックサミット2026を具で開催</p>	<p>11月28・29日、大和ミュージアムで「マリンテックサミット2026」を開催します。海洋AIやスマート養殖等を通じ、海の課題解決と新産業創出を目指すプラットフォームです。</p> <p>起業家や研究者など、地域・業界の枠を超えたオープンな交流で、次の100年の海洋産業を具から創り出します。ピッチ登壇者やスポンサーも大募集中です。共に海の次の100年を創りましょう。</p>
<p>5/30 (土) 13:45</p> <p>FAN Energy</p> <p>再エネ×地域経済循環スキームが創る持続可能な地域社会</p>	<p>『単なる電気の支出』を『環境・地域への直接投資』へ。再エネ100%を基軸とした、新たな地域経済循環モデル。</p> <p>ブロックチェーン技術による「顔の見える電力」の提供を基盤に、電気料金の一部を地域活動の原資へと変える独自の還元スキームを提示。</p> <p>単なる脱炭素の枠を超え、電力供給を通じて利益を地域内に還元・循環させ、持続可能な地域経済モデルの実現に取り組む。</p>
<p>5/31 (日) 11:00</p> <p>トロイダルプロペラ</p> <p>高効率を実現する次世代プロペラの開発と実験について</p>	<p>重油の価格上昇や環境負荷等による海洋産業へのインパクトは計り知れません。我々はトロイダルプロペラと呼ばれる次世代のプロペラを船舶に導入する事で、燃費の改善、振動の軽減、騒音の現象等、現在発生している様々な問題を解決しようとしています。設計と製造、双方の難しさから今まで採用される事が極めて少なかったこの次世代プロペラを、どのように船舶に導入するか説明します。</p>
<p>5/31 (日) 11:15</p> <p>株式会社シーテックヒロシマ</p> <p>1,000億円の経済損失を止める～船舶の常識を覆す二重表面処理技術～</p>	<p>船舶へのフジツボ付着は、最大40%の燃油ロスと年間4,000tものCO2排出を招く深刻な問題です。国内の経済損失は1,000億円を超えますが、既存塗料は環境負荷の高さが課題でした。本発表では、医療技術を転用した低負荷・高機能な新規防汚加工技術を紹介いたします。プロペラを用いた実証実験では、半年間の防汚効果を確認。環境保護と経済性を両立する次世代の解法を提示します。</p>
<p>5/31 (日) 11:30</p> <p>株式会社光電製作所</p> <p>海洋・沿岸向け分散型IoT観測システムのご紹介</p>	<p>広域から局所までの状況把握とリアルタイム監視を実現する「海洋・沿岸向け分散型IoT観測システム」の開発品を紹介する。本システムでは、小型気象レーダーと遠隔操作カメラ、IoTセンサハブにより、海洋・沿岸の“面”と“点”の事象の統合的な観測をコンセプトとする。本発表ではこのコンセプトを紹介するとともに、展示したシステム構成品の特徴について説明をする。</p>